



# 日の山



<https://www.ube-ygc.ed.jp/hke/>

1月21日発行

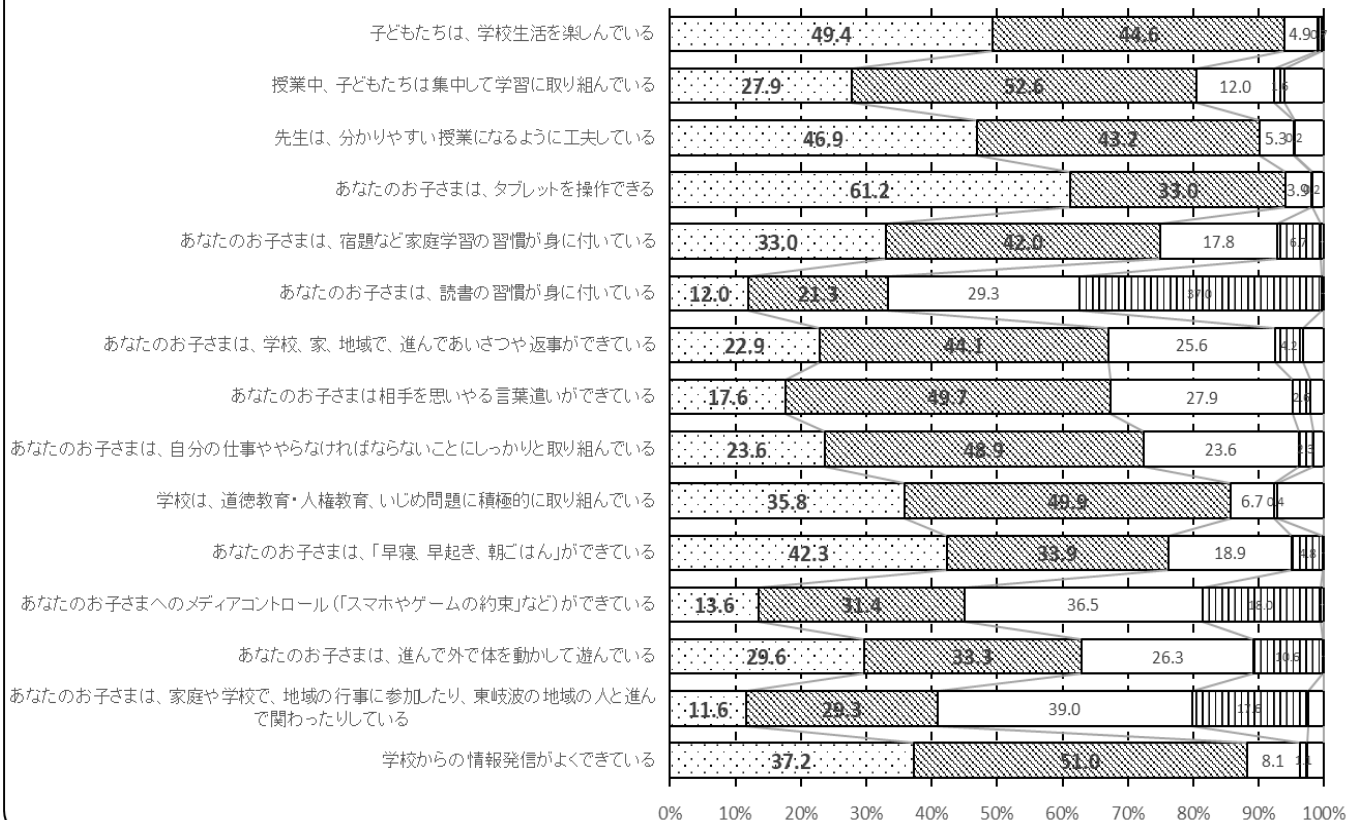
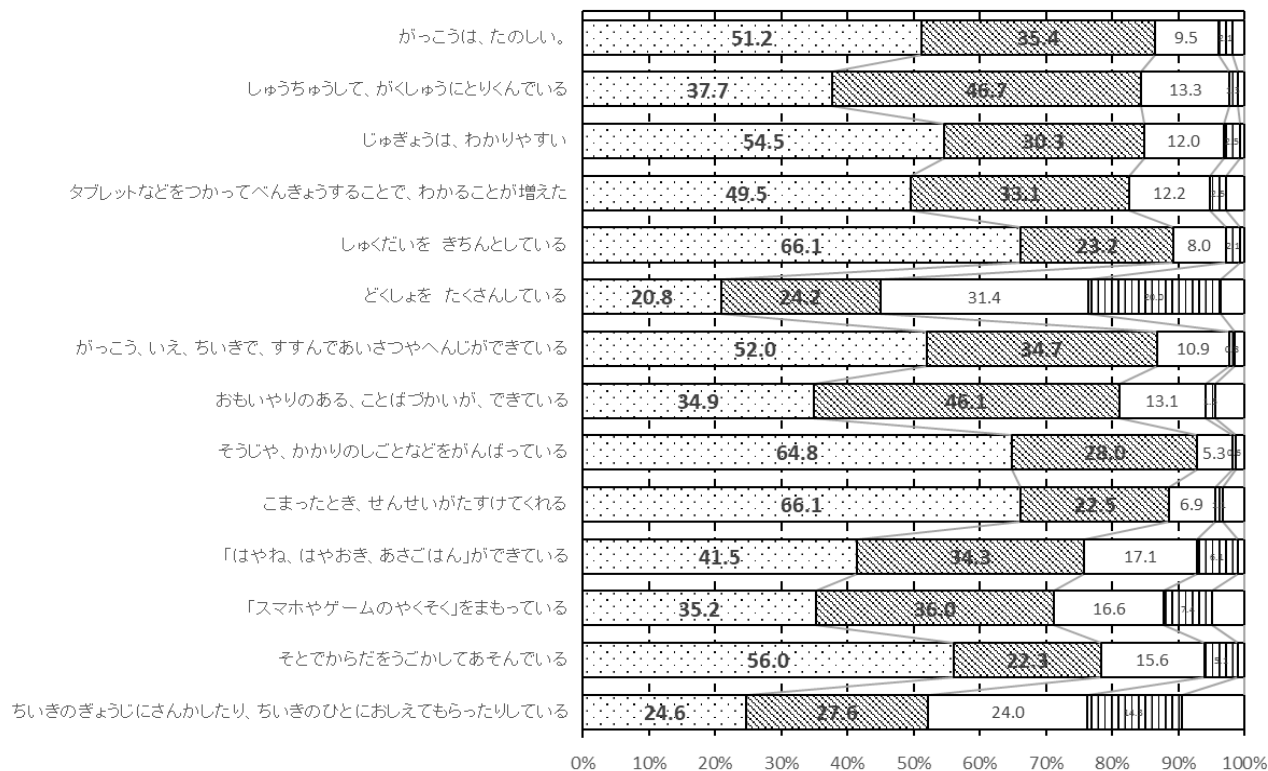
学校教育目標：ふるさと東岐波を愛し、夢の実現に向けて意欲的に学ぶ子どもの育成

東岐波小HP

## R8.第2回学校評価アンケートの結果

数値はパーセンテージを表しています。

□当てはまる □だいたい当てはまる □少し当てはまる □当てはまらない □わからない



## ＝ 保護者の皆様からの貴重なご意見の一部をご紹介します ＝

■学校で何の感染症が流行っているのか連絡が欲しい。学級閉鎖になるまでわからない事が多いので流行している病気、出席停止の感染症がクラスにいるのかどうか少し知りたい。（2件）

→学校での感染症の流行については、タイミングを見て連絡を心がけるようにします。

■授業としてだけでなく、言葉についてももう少し指導してほしい。小学校に入り、言葉遣いがどんどん乱暴になっている。成長と共に仕方がない面も多いとは思いますが、『お前』『やれ』など命令口調は普段使いしないでほしい。

→引き続き、言葉遣いについて、粘り強く指導していきます。

■シグフィが体調不良以外でも発信できるとよい。連絡帳を殆ど使用しない高学年や連続して休む場合の体調経過報告などに活用出来るのではないかと。休む場合、連絡帳は預けた方が良いでしょうか？

→すべての欠席理由にコメントができるように設定しました。欠席の場合の連絡帳は預けられなくても大丈夫です。日課等は担任からシグフィーでご連絡いたします。

■負担軽減とは分かっていますが、学校だよりは紙で配布してほしいです。

→市もペーパーレス化を進めておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

9月より「学校だより」をシグフィーにて配信し、HPにも掲載してまいりますので、今後もよろしくお願いいたします。

\*その他にも、ご意見をいただいておりますので、前向きに子どもたちのためになるように検討していきます。

## 🍊 アンケート結果の考察 🍊

### 「自らかかわる力」の育成 ～ 自ら課題を発見し解決する ～

- 児童、保護者ともに概ね肯定的な回答「当てはまる」・「だいたい当てはまる」が多い。児童では、最も高い評価だったのは「掃除や、係の仕事等をがんばっている」で、「宿題をきちんとしている」、「困った時、先生が助けてくれる」が続いた。保護者では、「お子様はタブレットを操作できる」が最も高く、次に「子どもたちは、学校生活を楽しんでいる」、「先生は、分かりやすい授業になるように工夫している」と続いた。これまでと同様、『読書習慣』は本校の最も大きな課題で、1学期と比べて児童も保護者も肯定的回答が減少した。家庭でも、学校でも読書の時間を確保していき、読書の楽しさを味わえる機会を増やしたい。

### 「自分を生かす力」の育成 ～ 礼儀をわきまえ多様な人権を認め合える ～

- 『学校、家、地域で、進んであいさつや返事ができている』については、児童・保護者ともに「当てはまる」・「だいたい当てはまる」の回答が1学期に比べて増えている。小中あいさつ運動や「にじあめちゃん」の取組が効果を上げたのではないだろうか。継続していきたい。

### 「社会とかかわる力」の育成 ～ 心身ともに健康で夢や目標に向かって努力する ～

- 『スマホやゲームの約束』は、児童の肯定的意見が71.2%、保護者が45%で、1学期同様児童と保護者の評価の差が大きかった。児童はルールを守っていると感じているが、保護者から見ると守れていない現状が伺われ、依然として深刻な課題となっている。「メディアコントロール週間」等、学校と家庭の連携がいっそう望まれる。

### 保護者・地域との連携に関すること

- 『地域との関わり』については、1学期と比較すると児童の肯定的な回答が増加している。引き続き、地域行事について情報発信をし、東岐波の地域の伝統行事を大切にする心を育みたい。

「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。このアンケートは「小中一貫教育グラウンドデザイン」と関連を図った設問にしています。今後も皆様から頂いた結果を参考に東岐波小学校・中学校が連携して、子ども達が健やかに成長していけるよう協働で取り組んでいきます。